

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【公開番号】特開2015-114191(P2015-114191A)

【公開日】平成27年6月22日(2015.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-040

【出願番号】特願2013-255778(P2013-255778)

【国際特許分類】

G 01 F 1/80 (2006.01)

G 01 F 1/34 (2006.01)

【F I】

G 01 F 1/80

G 01 F 1/34

B

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月2日(2016.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続した直管部及び曲がり管部を含みこの内部を流体の流通する管路の該曲がり管位置に力検出用歪ゲージを与え、直管位置に静圧・温度補償用歪ゲージを与えた質量流量計で該管路内の静圧の計測を与える静圧計測方法であって、

計測された質量流量に対応する静圧変化について、前記力検出用歪ゲージ又は前記静圧・温度補償用歪ゲージのいずれか一方から得られる流量に対応する静圧変化で補償して前記静圧の計測を与えることを特徴とする静圧計測方法。

【請求項2】

前記質量流量は、前記曲がり管位置での遠心力又は向心力、及び、前記静圧変化との間で一次近似することを特徴とする請求項1記載の静圧計測方法。

【請求項3】

連続した直管部及び曲がり管部を含みこの内部を流体の流通する管路の該曲がり管位置に力検出用歪ゲージを与え、直管位置に静圧・温度補償用歪ゲージを与えて該管路内の静圧の計測を与える質量流量計であって、

計測された質量流量に対応する静圧変化について、前記力検出用歪ゲージ又は前記静圧・温度補償用歪ゲージのいずれか一方から得られる流量に対応する静圧変化で補償して前記静圧の計測を与えることを特徴とする質量流量計。

【請求項4】

前記質量流量は、前記曲がり管位置での遠心力又は向心力、及び、前記静圧変化との間で一次近似することを特徴とする請求項3記載の質量流量計。

【請求項5】

前記静圧を前記質量流量で除算することにより管路抵抗の計測を与えることを特徴とする請求項3又は4に記載の質量流量計。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】質量流量計及び静圧計測方法